

## 第2次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（平成29年度）

### 1 取組状況について

全20項目の事業について、平成29年度の取組実績（見込）等をもとに、各事業における成果指標の目標値（平成32年度）に対する進捗状況を評価した。

### 2 「成果指標」の進捗評価結果（概要）

政策分野	取組 事業数	進捗評価		
		A：順調	B：概ね順調	C：要改善
1 生活機能の強化に係る政策分野	11	5	5	1
医療	1	0	0	1
福祉	1	1	0	0
教育	1	1	0	0
産業振興	6	1	5	0
環境衛生	1	1	0	0
その他	1	1	0	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	5	2	3	0
道路等の交通インフラの整備	1	1	0	0
地域内外の住民との交流・移住促進	3		3	0
その他	1	1	0	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	1	2	1
宣言中心市等における人材の育成	1	1	0	0
宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	1	0	0	1
その他	2	0	2	0
合計	20	8 (40%)	10 (50%)	2 (10%)

※（％）は、全体のうち、A、B、Cと評価された事業の割合

### 3 連携する具体的な取組事業の実績について

#### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

##### ■ 医療

##### ① 地域医療の連携（1市2町）

<b>事業名</b>	徳島市民病院との連携強化事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・勝浦町・上勝町				
<b>取組内容</b>	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。				
<b>成果指標</b>	連携施設から徳島市民病院への紹介患者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	12人	目標値(32年度)	15人	
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
	3人	2人			
<b>進捗状況</b>	合同研修会開催等により連携3施設の連携強化に努めたが、連携施設から徳島市民病院への紹介患者数の増加にはつながらなかった。				進捗評価
					C
<b>今後の方向性</b>	連携施設に対し、急性期病院としての徳島市民病院の取り組みをさらにアピールしていく。				
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○紹介患者に対する医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島市民病院において連携施設から紹介を受けた患者を治療した。 【患者数】2人（勝浦病院1人、上勝診療所1人）※12月末時点</li> </ul> <p>○医療従事者への研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連携3施設（徳島市民病院、勝浦病院及び上勝診療所）による合同研修会を実施（平成30年2月22日）。 徳島市民病院又は勝浦病院の医療従事者を連携施設に講師として派遣し、講演会や症例検討会を開催。</li> </ul>					

■ 福祉

② 子育て環境の充実（2市8町1村）

事業名	病児保育事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。				
成果指標	病児保育利用延べ人数（年間）				
	当初値(平成27年度)	5,933人	目標値(32年度)		9,500人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
7,283人		8,631人			
進捗状況	利用者の平成29年度実績は、前年度比で約19%増加する見込みであることから、圏域内での事業の浸透が図られていると考えられる。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き広域圏内での広報活動を促進し、利用者の増加を図る。				

**【平成29年度の取組実績（見込）】**

○病児保育事業の広域利用を、徳島市、小松島市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の11市町村で実施した。

◎広域利用可能施設

- ・藤岡クリニック（徳島市）
- ・田山チャイルドクリニック（徳島市）
- ・愛育小児科（徳島市）
- ・えもとこどもクリニック（徳島市）
- ・ひなたクリニック（徳島市）
- ・ひなたクリニック末広（徳島市）
- ・徳島赤十字乳児院（小松島市）
- ・伊勢内科小児科（石井町）
- ・富本小児科内科（藍住町）
- ・北島こどもクリニック（北島町）

○広報用リーフレットを20,000部作成し、市立・私立保育所及び委託医療機関等で配布した。

○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知した。

○病児保育事業の利用状況（11月末現在） [単位：人]

	徳島市内 施設	小松島市 内施設	石井町内 施設	北島町内 施設	藍住町内 施設	合計
徳島市民	2,601	124	138	72	22	2,957
小松島市民	15	70				85
勝浦町民		5				5
佐那河内村民	13					13
石井町民	264		646			910
神山町民	1		22			23
松茂町民	49	3		56	5	113
北島町民	99	1	2	162	42	306
藍住町民	47		24	7	602	680
板野町民	4		12		123	139
上板町民	16				46	62
合計	3,109	203	844	297	840	5,293

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（1市2町）

事業名	圏域内図書館相互利用事業				
連携市町村	徳島市・石井町・北島町				
取組内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、圏域内の連携市町村立公立図書館の相互利用を実施する。				
成果指標	相互利用登録者数（累計）				
	当初値(平成27年度)	2,073人	目標値(32年度)		3,400人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
2,357人		2,644人			
進捗状況	着実に事業を行った結果、目標値に向けて順調に実績を残すことができ、圏域内図書館の利用者拡大及び交流人口の拡大につながっている。				進捗評価
					A
進捗状況	着実に事業を行った結果、目標値に向けて順調に実績を残すことができ、圏域内図書館の利用者拡大及び交流人口の拡大につながっている。				
今後の方向性	取り組みを着実に続けていくことにより、安定した実績を残す。				

【平成29年度の実績（見込）】

○徳島市立図書館及び北島町立図書館の相互利用を実施した。

○図書館相互利用状況（4月～11月）

（11月末現在）

	新規登録者 (人)	居住地別		
		徳島市民	北島町民	石井町民
徳島市立図書館	94	—	56	38
北島町立図書館	98	95	—	3
合計	192	95	56	41

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

<b>事業名</b>	観光開発・観光誘致事業				
<b>連携市町村</b>	全市町村				
<b>取組内容</b>	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、観光資源やイベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。				
<b>成果指標</b>	連携市町村観光客村入り込み数（年間）				
	当初値(平成27年度)	6,833千人	目標値(32年度)		7,000千人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
6,666千人		6,800千人			
<b>進捗状況</b>	広域観光の一体的なPR活動のほか、観光案内ステーションによる徳島東部地域の観光案内、物産案内を広域的かつ効果的に行うなど、さまざまな取組が少しずつ成果につながっている。				進捗評価
					B
<b>今後の方向性</b>	徳島東部地域15市町村と民間事業者が連携してDMOを設立し、官民一体となって観光地域づくりを推進し、観光客増加につなげていく。				

## 【平成29年度の取組実績（見込）】

○徳島東部地域体験観光市町村連絡協議会負担金

- 徳島東部地域を巡る日帰りバスツアーを阿波おどり期間（8月12日～15日）に実施。  
（参加人数 58人）
- 連携市町村が共同で下記日程で県外観光キャンペーンを実施し、観光・物産の紹介、特産品の販売、観光パンフレット等を配付。  
◇11月17日、18日：ゆるキャラグランプリ 2017in 三重桑名・ナガシマリゾート
- 圏域内の観光スポットを巡るスタンプラリーを開催  
（平成30年1月6日～3月21日、スタンプ設置箇所30箇所）
- ホームページ等の電子媒体を活用し、徳島東部地域の「観光」「食」「文化・歴史」等を紹介するなど積極的な情報発信を実施



△ホームページ

- 徳島東部地域を積極的に周知するため、キャラクターグッズ等の製作を行い、各種イベント等においてそれぞれを活用した観光PRを実施  
（うちわ：15,000本）
- 東部圏域内の観光スポットをレンタサイクルで巡るサイクリングツアーを実施（平成30年3月までの期間、計23回実施）

（次のページにつづく）



## 【平成29年度の取組実績（見込）】（つづき）

### ○観光地域づくりの推進

- DMO（観光地域づくり推進法人）を核とした観光地域づくりに向けて、官民が一体となって徳島東部地域 DMO の設立準備を行った。

（平成30年4月 法人設立予定）

◇5月24日：徳島東部地域DMO設立準備委員会 設立総会・第1回総会開催

◇10月26日：徳島東部地域DMO設立準備委員会 第2回総会開催

◇平成30年1月30日：徳島東部地域DMO設立準備委員会 第3回総会開催



△設立総会・第1回総会開催の様子

### ○広域観光案内ステーション事業

- 徳島駅前の拠点施設において、連携市町村の観光・宿泊案内、物産販売等を行うとともに積極的な情報発信を行った。

- 徳島市を訪れる観光客への手軽な移動手段として活用できる電動アシスト付自転車を徳島駅前で貸し出し、市内観光はもちろんのこと、連携市町村への移動手段として活用を図った。また、圏域内に充電施設を確保することにより自転車等の移動エリアの拡大を図った。

（貸出台数：電動アシスト付自転車 3,973台 11月末現在）



### ○はなはるフェスタ開催費補助

- 徳島市の藍場浜公園・新町川公園一帯を会場に、4月15日（土）・16日（日）の2日間、「阿波おどり」、「食」、「伝統文化」等をテーマに開催された「はなはるフェスタ2017」の事業費に対して補助

（2日間で来場者 25万人）



⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域内の観光案内や物産販売等を目的とする拠点施設において、農産物加工品等の販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、「とくしま食材フェア」の共同実施、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。				
成果指標	とくしまIPPIN店認定数（累計）				
	当初値(平成27年度)	202店	目標値(32年度)	210店	
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
204店		205店			
進捗状況	とくしまIPPIN店のガイドブックをリニューアルしたほか、今年度新たにとくしまIPPIN店を巡るスタンプラリーを実施したことにより、とくしまIPPIN店等の認知度向上が図られた。				進捗評価 B
今後の方向性	スタンプラリーは、地産地消の推進に効果的な事業であるため、実施内容を改善しながら、今後も継続する。				

【平成29年度の取組実績（見込）】

○農産物魅力発信事業（連携市町村：全市町村）

- ・広域観光案内ステーションにおいて圏域市町村の特産品や農産物加工品などを展示・販売し、広く市民や県内外の観光客に対して良さや魅力をPRした。また、各市町村の農産物や特産品等の認知度向上を図るため、県外向けのパンフレットを作成し、配布した。

○地産地消推進事業（連携市町村：全市町村）

- ・連携市町村において「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、とくしまIPPIN店のガイドブックをリニューアルしたほか、新たな取り組みとして、とくしまIPPIN店でのスタンプラリーを実施するなど、各種広報媒体によるPR活動を積極的に行うことで地産地消の推進を図った。



△ガイドブック



△スタンプラリーのチラシ

（次のページにつづく）

**【平成29年度の取組実績（見込）】（つづき）**

○地産地消推進事業（連携市町村：全市町村）

- ・11月18日（土）・19日（日）に藍場浜公園において「とくしま食材フェア2017」を開催した。（来場者数：延べ約25,000人）



△とくしま食材フェア2017の様子

⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

<b>事業名</b>	コミュニティビジネス起業支援事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町				
<b>取組内容</b>	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。				
<b>成果指標</b>	コミュニティビジネスセミナー参加者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	68人	目標値(32年度)		80人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
69人		57人			
<b>進捗状況</b>	広報活動も従来どおり行ったが、参加者数の平成29年度実績は、前年度よりも少ない状況となった。				進捗評価 B
<b>今後の方向性</b>	今後は、各6市町との連携でさらに広報活動を充実させコミュニティビジネスセミナーの参加人数を増やすとともに、6市町と連携してコミュニティビジネスで起業・創業する人の知識取得や人的交流などの支援を行っていきたい。				

**【平成29年度の実績（見込）】**

○コミュニティビジネスの立ち上げや、起業、独立を目指している人を対象にしたコミュニティビジネス創業セミナーを開催した。

また、セミナー終了後にも起業に関する相談等創業支援事業者間の連携体制を周知した。

**【セミナーの内容】**

第1回9月14日

- ① 自己紹介～互いの参加動機や活動、起こしたいCBの種の情報交換
- ② 起業の強化書！
- ③ 地域社会の課題を解決するために・・・私のめざすCB

第2回9月21日

- ① 「重い」を「面白い」に！Tサポート流コミュニティビジネスとは？
- ② 思いの種をまこう！

第3回9月28日

- ① 地域活性化の仕掛けとは
- ② 思いの種を芽吹かせよう！

第4回10月5日

- ① 思いに花を咲かせよう！

【参加者数】延べ57人

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

<b>事業名</b>	企業誘致活動推進事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町				
<b>取組内容</b>	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。				
<b>成果指標</b>	誘致した企業数（累計）				
	当初値(平成27年度)	26社	目標値(32年度)		56社
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
30社		33社			
<b>進捗状況</b>	企業誘致については、現在空き用地がないことから、工場等の建設は困難なため、貸しオフィスを活用した情報通信関連事業（コールセンター）等の誘致に努めた。				進捗評価 B
<b>今後の方向性</b>	誘致した企業の撤退防止のため、就職マッチング等人材確保支援に取り組む。				
<p><b>【平成29年度の取組実績（見込）】</b></p> <p>○各自治体の企業誘致HPの相互リンク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町の企業誘致ホームページを相互リンクすることで、立地候補地の情報収集を行う企業に対し、各市町単独だけではなく圏域としてもアピールを行い、より効果的な企業誘致活動につなげた。</li> </ul> <p>○企業誘致の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連事業所（コールセンター）等、雇用創出効果の高い企業を誘致し、近隣市町村を含めた雇用拡大を図った。 （誘致した企業数 3社）</li> </ul>					

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

<b>事業名</b>	中心市街地都市機能整備事業				
<b>連携市町村</b>	全市町村				
<b>取組内容</b>	中心市街地のにぎわいや回遊性等を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住者が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。				
<b>成果指標</b>	徳島ひょうたん島水都祭来場者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	3万人	目標値(32年度)		5万人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
	4万人	1万5千人			
<b>進捗状況</b>	徳島ひょうたん島水都祭は9月16日～18日の3日間の開催予定であったが、台風18号の影響で最終日1日間の開催となった。水上コンテンツは中止であったが、藍染め体験はじめ水にちなんだワークショップやステージイベント等数々のコンテンツにより、1日間で1万5千人の来場者があった。				進捗評価  B
<b>今後の方向性</b>	水辺空間の魅力を体感できる水上コンテンツを関係団体と協力しながら企画・実施し、県外に向けて積極的に水都・とくしまを発信し、観光客の増を目指す。				

## 【平成29年度の取組実績（見込）】

- 「徳島ひょうたん島水都祭2017」の開催  
（9月16日・17日・18日 ※16日・17日台風による悪天候のため中止）
  - ・水都・徳島の魅力を全国に発信するため、徳島市中心部にある「ひょうたん島」周辺を舞台に「川いいね！とくしま。」をブランドメッセージとして水とともに発展した徳島市の魅力を体感できる様々なプログラムを実施する「徳島ひょうたん島水都祭2017」を開催した。

【来場者】1日間で約15,000人



- 「とくしまLED・デジタルアートフェスティバル」の開催  
（平成30年2月9日～18日）
  - ・従来の徳島LEDアートフェスティバルを再構築し、LEDに加え、デジタルアートを取り入れた新たなイベントとして徳島県と連携して開催した。
  - ・徳島市中心市部（新町川、城山公園、万代倉庫、県庁）を会場とし、本市出身の猪子寿之氏が代表を務める「チームラボ」が制作した4つのシンボルアート作品を展示したほか、ワークショップやライブパフォーマンスなどの多彩なイベントを展開した。



△シンボルアート作品

- ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業
  - ・平成28年度に策定したひょうたん島川の駅ネットワーク構想に掲げた川の駅等の候補地のうち、「徳島城博物館助任棧橋」「徳島文化公園前棧橋」「南末広棧橋」の整備に向け、関係団体等と協議を行った。
- 新ホール整備事業
  - ・5月の候補地検討会議の提言・意見を踏まえ検討した結果、徳島駅西側駐車場を建設候補地として選定し、土地所有者との協議や施設の規模・機能・配置等の検討を行った。

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。				
成果指標	鳥獣侵入防止柵の設置延長（H28～H32 累計）				
	当初値(平成27年度)	—	目標値(32年度)		30,000m
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
18,617m		20,617m			
進捗状況	侵入防止柵の設置延長では、想定したペースを大きく上回る実績が得られた。				進捗評価 A
今後の方向性	引き続き、侵入防止柵の設置について、効率的な設置に向けた情報収集や、集落での説明会等を開催し、地域で一体となった鳥獣被害対策を推進していく。				
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○連携市町村の担当者間で鳥獣被害の状況や被害対策の実施状況について情報共有を行った。</p> <p>○各連携市町村が、地域の実情にあった鳥獣被害防止対策を実施した。</p>					



■ 環境衛生

⑩ 公共施設の広域利用（2市2町1村）

<b>事業名</b>	火葬場整備・利用促進事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村				
<b>取組内容</b>	圏域内（小松島市）において、火葬場を整備する。 運営に当たっては、広域利用の促進及びその周知を行い、住民の快適で衛生的な生活環境の確保を図る。				
<b>成果指標</b>	連携市町村住民利用者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	(供用前)	目標値(32年度)		700人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
(供用前)		495人			
<b>進捗状況</b>	計画通り、小松島市新葬斎場の本体工事が完了し、7月から運用を開始している。利用者数に関しても、目標達成に向け、順調に利用が進んでいる。				進捗評価 A
<b>今後の方向性</b>	広域利用について、引き続き広報媒体等により周知を図るとともに、圏域住民の利用に関する利便性を高めるための協議・検討を行っていく。				
<b>【平成29年度の実績（見込）】</b>					
○火葬場整備・利用促進事業					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小松島市新葬斎場の本体工事が完了し、7月1日から指定管理者により業務を開始した。また、駐車場整備に向けて旧葬斎場の解体工事を行い、駐車場整備工事に着手した。</li> <li>・広域利用について、連携自治体において広報紙やホームページ等により周知を行った。</li> </ul>					
【利用者数】495人（※平成30年3月末の見込）					

■ その他

⑪ 環境保全活動の推進（1市8町）

事業名	地球温暖化対策推進事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取り組み拡大を図る。				
成果指標	こどもエコチャレンジノート配布部数（年間）				
	当初値(平成27年度)	461部	目標値(32年度)		1,000部
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
300部		530部			
進捗状況	<p>小学校で環境教室を実施する際に、「こどもエコチャレンジノート」を配布することで、家庭でできる省エネ等の取り組みについて子どもたちと一緒に考える機会を持つことができた。さらには、環境イベントを開催した際にも、参加家族に同ノートを配布し、家族と一緒にできる地球温暖化対策の普及啓発に努めた。</p>				進捗評価  A
今後の方向性	出前環境教室など、子どもたちと一緒に環境について考える機会に継続して「こどもエコチャレンジノート」を活用する。				
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○ノーマイカーデー、ライトダウンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各市町において、職員に対してマイカー通勤を控えるよう呼びかけるとともに、庁舎内の節電、不要な照明の消灯に努めた。</li> </ul> <p>○環境学習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「こどもエコチャレンジノート」を活用し、各市町の小学校等において環境学習に活用した。（530部配布）</li> </ul> <p>○エコアクション21の認証取得支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコアクション21の説明会や広報を実施し、普及促進に努めた。</li> </ul>					

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 道路等の交通インフラの整備

⑫ 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）

事業名	圏域道路網整備促進等事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	1回	目標値(32年度)		1回
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
1回		1回			
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できた。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き情報交換等を実施し、各市町村の連携を図る。				
<p><b>【平成29年度の取組（見込）】</b></p> <p>○市町村界に係る道路整備推進のための情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者部会での情報交換（11月に実施）を行うことで、効率的な道路整備を行うことが可能となった。</li> </ul>					

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑬ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

<b>事業名</b>	ニュースポーツ用品の相互利用事業					
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
<b>取組内容</b>	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内の市町村でニュースポーツ用品の相互利用を図る。					
<b>成果指標</b>	相互利用回数（年間）					
	当初値(平成27年度)	(未実施)	目標値(32年度)	5回		
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32
		(未実施)	2回			
	参加者数（年間）					
	当初値(平成27年度)	(未実施)	目標値(32年度)	200人		
実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32	
	(未実施)	80人				
<b>進捗状況</b>	用具・備品の相互利用開始の初年度として、2回の実績を確保できた。今後も、連携自治体との相互連携を図ることにより、さらなる事業拡大が期待できる。				進捗評価	
					B	
<b>今後の方向性</b>	連携自治体とニュースポーツの普及について、方向性を確認し、事業拡大を図る。					
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○ニュースポーツ用具・備品の相互利用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島市が所有するカローリングの用具を上勝町、北島町に貸出を行うとともに、上勝町と北島町が同用具を利用し、ニュースポーツのイベントを開催した。 (参加者数80人)</li> </ul>						

⑭ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

事業名	就農支援体制連携強化事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取り組み状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。					
成果指標	経営力向上支援事業参加者数（年間）					
	当初値(平成27年度)	51人	目標値(32年度)		50人	
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32
		50人	33人			
進捗状況	徳島県が開催する農業技術に関する講習会を活用し、新規就農者等の支援を図った。また、今年度から若手農業者による自主的な活動グループが設立され、自主的な活動が行われるようになった。				進捗評価 B	
今後の方向性	今後も県の講習会等を活用するとともに、若手農業者の自主的活動を支援していく。					

【平成29年度の実績（見込）】

○新規就農者経営力向上支援事業

- ・定年退職者等を含む新規就農者の育成のため、徳島県が開催する講習会を活用し、栽培技術の向上や経営安定化を図り、地域農業の担い手として定着できるよう努めた。
- ・若手農業者には、青年農業者や関係機関と連携し、生産・経営等の技術習得のための、人材ネットワークの拡大等を支援した。

○石井町藤の里いきがい農園事業

- ・石井町藤の里いきがい農園として遊休農地を活用し、住民に農作業の場を提供した。

⑮ 移住・長期滞在の推進（2市3町1村）

<b>事業名</b>	移住・長期滞在推進事業				
<b>連携市町村</b>	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町				
<b>取組内容</b>	中心市が持つ都市機能の魅力と、近隣市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。				
<b>成果指標</b>	移住者数（年間）				
	当初値(平成27年度)	54人	目標値(32年度)		164人
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
127人		61人			
<b>進捗状況</b>	移住促進については、県等の関係機関と連携して取り組み、概ね順調に移住者数（※9月末現在）を伸ばしている。今後は、さらなる移住促進に向け、移住者本人向けの施策を増やしていく必要がある。				進捗評価 B
<b>今後の方向性</b>	移住希望者の知りたい居住・観光情報等の情報を提供することで、移住を促進し、定住人口の増加を図る。				
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○関係団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県及びふるさと回帰推進協議会、市町村観光関連団体等との連携により、情報発信を行った。</li> </ul> <p>○OUIターン促進事業により、移住促進を図った。</p> <p>○連携市町村による移住・長期滞在推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「神山町移住交流センター」を運営し、移住支援のノウハウ、町内外に広がるネットワークを活かし、ワンストップサービスによる、きめ細やかなサービスを提供した。</li> <li>・空き家情報データベースの活用した移住者向け住宅情報の提供を行った。 （移住者9世帯11人 ※9月末現在）</li> </ul>					

■ その他

⑩ 情報システムの共同研究（1市6町）

事業名	情報システム共同研究事業				
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(平成27年度)	2回	目標値(32年度)	2回	
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
	1回	2回			
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できた。				進捗評価
					A
今後の方向性	セキュリティ強化対策についての情報共有を継続するとともに、自治体クラウド導入に係る課題等の情報交換を推進する。				
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○標的型攻撃メールの徳島市の取組状況を各市町村と情報共有を図り、互いのセキュリティ強化に寄与できた。</p> <p>○自治体クラウド導入に対する情報交換を行うことで、各市町村での情報システムの更新・導入に役立てることができたとともに、単独では認識し得なかった課題等を理解することができた。</p>					



### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ■ 宣言中心市等における人材の育成

##### ⑰ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。					
成果指標	研修会開催回数（年間）					
	当初値(平成27年度)	2回		目標値(32年度)	2回	
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32
	3回	3回				
進捗状況	成果指標の目標を達成したことに加え、合同研修会としての研修テーマや内容についても、研修後アンケートから約9割が満足しており、圏域自治体職員の意識改革と資質向上を図ることができている。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	多様な行政課題を効果的・効率的に処理できる職員力の強化に向け、随時、研修の内容等を検証し、計画的な人材育成に取り組む。					

#### 【平成29年度の実績（見込）】

○徳島市において次の合同研修会を実施した。

①「意識改革講座Ⅰ」実施（7月6日、徳島市役所13階大会議室）

講師：株式会社リーダーシップコンサルティング 代表取締役 岩田松雄 氏

内容：ミッション：リーダーの原点に戻る

[参加者]147人（うち近隣市町村5人）

②「職場風土改革講座」実施（10月24日、徳島市役所13階大会議室）

講師：株式会社ビズパワーズ 代表取締役 柳瀬智雄 氏

内容：「最高の職場」を生み出す職場風土改革講座

[参加者]46人（うち近隣市町村1人）

③「防災対策講演会」実施（9月6日、徳島市役所13階大会議室）

講師：国立大学法人徳島大学 環境防災研究センター 助教 湯浅恭史 氏

内容：災害に強くなる7つの方法

[参加者]79人（うち近隣市町村5人）

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑩ 外部からの人材の確保（全市町村）

事業名	外部人材共同招へい事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。				
成果指標	外部人材活用件数（H28～H32 累計）				
	当初値(平成27年度)	—		目標値(32年度)	2件
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31
0件		0件			
進捗状況	連携市町村において外部人材の活用を検討したが、活用には至らなかった。				進捗評価
					C
今後の方向性	他の圏域における先進事例を積極的に調査・研究し、新たな活用の検討及び実施を図る。				
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○連携市町村において圏域の活性化を図るため、外部人材の活用の検討を行った。</p>					

■ その他

⑱ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

<b>事業名</b>	行政運営に関する研究会開催事業					
<b>連携市町村</b>	全市町村					
<b>取組内容</b>	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。					
<b>成果指標</b>	研究会開催回数（年間）					
	当初値(平成27年度)	2回	目標値(32年度)	3回		
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32
		2回	2回			
	1回当たり研究会参加自治体数（年間）					
	当初値(平成27年度)	11市町村	目標値(32年度)	12市町村		
実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32	
	10市町村	10市町村				
<b>進捗状況</b>	目標達成に向け、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価	
					B	
<b>今後の方向性</b>	圏域自治体及び担当課と連携して研究会を開催し、圏域自治体間の情報の共有化、運営機能の強化やネットワーク構築・連携強化を図る。					
<p><b>【平成29年度の実績（見込）】</b></p> <p>○人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高いものをテーマにし、新たな課題の解決や制度への対応に向けて、圏域自治体及び担当課と連携して研究会を開催した。</p> <p>①「市町村における行政不服審査制度の運用について」 （10月6日、徳島市役所 13階 第二研修室） [参加者] 20人（うち近隣市町村 17人） [参加自治体数] 10市町村</p> <p>②「会計年度任用職員制度について」 （平成30年2月2日、千秋閣 7階 鳳の間） [参加人数] 31人（うち周辺市町村 19人） [参加自治体数] 11市町村</p>						

⑳ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	徳島市市民活力開発センターが圏域全体で助言・相談等を行い、地域の人と地域づくり活動に関わった人との交流を促進する。また、各地域での協働事業の創出を支援するとともに、意欲的な市町村に対し重点的な支援を行う。					
成果指標	地域づくり活動の参加者数（年間）					
	当初値(平成27年度)	487人	目標値(32年度)	1,000人		
	実績(年度)	H28	H29(見込)	H30	H31	H32
		919人	486人			
進捗状況	前年度に比べ事業数が減少したが、「サンタがおうちにやってくる！」の事業は好評で、安定した参加者を維持している。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	好評な事業を継続するとともに、支援ニーズの把握に努め、意欲的な市町村に対し重点的に支援を行う。					
<p><b>【平成29年度の取組実績（見込）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○圏域10市町村の担当者の個別ヒアリングを行い、支援ニーズの把握に努めた。</li> <li>○センター機能の広域利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室・機材貸出、情報提供、広報支援など</li> </ul> </li> <li>○圏域内の住民を対象とした協働事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンタがおうちにやってくる！（NPO 法人眉山大学、県内の大学生との企画事業）  幼児～小学生くらいの子どものいる家庭から事前にクリスマスプレゼントを預かり、サンタに扮装した大学生ボランティアがクリスマスイブに届けに行った。  [開催日] 12月24日  [参加者] 480人</li> <li>・不登校児への支援事業（上勝町に在住する元教師の地域おこし協力隊員との協働事業）  上勝町の不登校の状態にある小、中学校の児童・生徒(6人)に対し、学習指導を実施予定。</li> </ul> </li> </ul>						

○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想PR事業
連携市町村	全市町村
取組内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 （形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組みである。）

【平成29年度の取組実績（見込）】

○定住自立圏構想推進事業

- ・市町村広報紙やホームページを通じ、適宜、取組状況などを周知
- ・9月に徳島東部地域定住自立圏PR情報誌『結ぶ』第11号を発行  
（10,000部を圏域市町村で配布）
- ・平成30年3月に徳島東部地域定住自立圏PR情報誌『結ぶ』第12号を発行  
（10,000部を圏域市町村で配布）
- ・徳島東部地域定住自立圏PR動画を制作し、圏域市町村のホームページで配信



△ 『結ぶ』第11号表紙